

江釣子地区地域農業マスタープラン

市町村名	集落/地域名	当初作成年月	更新年月(1回目)	更新年月(9回目)	更新年月(10回目)	更新年月(11回目)	更新年月(12回目)
北上市	江釣子	平成24年12月	平成25年2月	平成29年2月	平成29年9月	平成30年2月	平成31年2月

1. 地域における担い手の確保状況

担い手は十分確保されている / 担い手はいるが十分ではない / 担い手がいない

2. 将来の農地利用のあり方

取組事項	対応	＜その他記載欄＞
担い手に集積・集約化する	○	
担い手の分散錯圖を解消する	○	
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する	○	
耕作放棄地を解消する	○	
その他[右欄に自由に記載]		

3. 2についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応	＜その他記載欄＞
地域の農地所有者は原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	
農地をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	
担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	
その他[右欄に自由に記載]		

4. 今後の地域農業のあり方

今後の地域農業のあり方(地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者のあり方)		
取組事項	対応	コメント
複 合 化	○	<p>＜現状＞</p> <p>江釣子地区は、近年の土地改良事業にともない、個人経営体や集落営農組織を中心に、農地の利用集積を進めている地区です。水稻を主とした土地利用型農業による水田利用が図られており、とりわけ、水稻種子については、作付圃場の団地化に取り組みながら、農作業の効率化や、投入資材の低減化等によって、高品質な種子生産を進めています。その一方、市街地周辺部は、基盤整備が未実施であることから、生産効率の面で課題があります。</p> <p>また、りんごや小菊、セリなど園芸作物については、主に個人経営体が生産しており、土地利用型作物と合わせて経営の複合化に取り組んでいます。</p> <p>＜今後の取組＞</p> <p>①土地利用型作物については、水稻については良質なこだわりある米づくり、大豆については単収増加・高品質生産の取組の推進、また、麦・そばについては、二毛作の取組を普及拡大して、生産性の高い土地利用型農業を目指します。</p> <p>②地区の一部では、りんごの生産団地を有しており、環境に優しい産地づくりに取り組むことで、安全・安心な農作物として付加価値を高め、需要の拡大を図ります。</p> <p>③セリの生産者が多いことから、既存の生産者については作付面積の増加によって、または新規栽培者の掘り起こしによって、産地拡大を目指します。</p> <p>④園芸作物については、農業者の仲間づくり等を通じて、複合経営の安定化を図ります。</p> <p>⑤上記①～④の取組を担保するため、集落営農組織については法人化の取組を推進し、雇用の促進を図るとともに、個人経営体の世代交代や新規就農者の確保・育成の取組によって地区全体の若返りを図ります。</p> <p>⑥担い手農地の団地化・集積化を図るため、他地区との調整役の選定について検討します。</p> <p>⑦他地域にない、特産物を作ることを地域全体で取り組んでいきたい。</p>
6 次 産 業 化	○	
高 付 加 価 値 化	○	
新 規 就 農 の 促 進	○	
そ の 他 [ ]		